

CUCM、UC、UCCX、CER、Cisco Prime サーバで不意のシャットダウンを特定する方法

目次

[概要](#)

[不適當なシャットダウンを確認して下さい](#)

概要

この資料に Cisco Unified Communications Manager (CallManager) (CUCM)、Cisco Unity Connection (UC)、Cisco Unified Contact Center Express (UCCX)、Cisco Emergency Responder (CER)、Cisco のカスタマイズされた音声 オペレーティング システム (VOS) の上を動作するアプリケーションまたは Cisco プライム記号の予想外シャットダウンを、識別する方法を記述されています。サーバが予想外シャットダウンを経験する場合、ファイルシステム一貫性は保証することができません。ファイルは予想に反して取除かれるかもしれませんファイル許可の所有権は変更されるかもしれませんまたはファイルのコンテンツは破損するかもしれません。

一時的にシステムを回復 するために、対応した ソフトウェア バージョンのためにリリースされるシステム 回復ディスクを実行して下さい。

不適當なシャットダウンを確認して下さい

システムが不適當にシャットダウンされたかどうか確認するために system-history.log を検討して下さい。

注: system-history.log は Cisco バグ ID [CSCsI94283](#) の一部として、「CCM 5.X 以前のリリースの 4.X." バージョンのような History.log のすべてのインストール/アップグレードをトラッキングする必要がありますトラッキングされませんでした追加されました。 history.log は CUCM バージョン 9.1(1) および それ 以降で統合予想外リブートのためのアラームおよびアラートを追加するために Cisco バグ ID [CSCtr88859](#) の不適當なシャットダウンをトラッキングするために高められました。

1. インストール/アップグレード ログを Cisco Unified 実時間監視 ツール (RTMT) からダウンロードし、system-history.log を収集して下さい。
または
Command Line Interface (CLI) のファイル ビュー インストール system-history.log コマンドを入力して下さい。
2. ルートの各例を検査して下さい: ブートは、各例がこれらの行の 1 つに先行されることを確認し:

```
root: Restart
root: Shutdown
root: Install
root: Upgrade
```

3. ブート 例が再始動、シャットダウン、インストール、またはアップグレードによって続行しなければ、本当らしかったですが汚いシャットダウンがありました。

これは汚いシャットダウンの例です:

```
08/14/2012 13:36:09 | root: Boot 9.0.1.10000-37 Start
```

```
08/14/2012 17:28:25 | root: Boot 9.0.1.10000-37 Start
```

この例ではファイルシステム一貫性を確認するために、サーバは再製する必要があります。更に詳しい情報についてはこれらの Cisco バグ ID を参照して下さい:

- Cisco バグ ID [CSCth60800](#) 再製する、「ファイルシステム 修理の後でシステムを」リカバリ ディスク警告
- ファイルシステム 修理」後 Cisco バグ ID [CSCth53322](#) は、「システム改造のための必要を文書化します
- Cisco バグ ID [CSCuy94644](#)、「予想外シャットダウンの後の Cisco Emergency Responder 破損」

注: 場合サーバが Cisco バグ ID [CSCtw73590](#) のための修正なしでバージョンの VMware で動作する、エントリは system-history.log に含まれていないかもしれませんがゲストシャットダウンが始められる時サーバが VSphere によってシャットダウンされる場合「VSphere シャットダウンを始めるか、または」は system-history.log に記録されなくて、そして再起動します。